



HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 政 岡 政 広
幹 事 木 戸 章 由
会報委員長 今 中 健

2020. 10. 01 (第989回)

今週のプログラム

≪10月01日(木) 例会 KKR ホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「米山月間に因んで」

地区米山奨学委員会

委員長 清水久博様

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

来週の予定

≪10月08日(木) 例会 KKR ホテル2階「琴」≫

◎卓 話 「ガバナー講話」

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 簡 仁一様

先週の出席者

≪9月10日(木) 例会≫

会員数19名 出席者13名(81.3%)

*8月06日(木) 例会修正出席率 87.5%

会員数19名 例会出席者9名/メークアップ5名

幹事報告

幹事 木戸章由君

◎本日の卓話に、米山月間に因んで、地区米山奨学委員長の清水久博様にお越し頂いております。

◎次週(10/8)の例会は、ガバナー公式訪問です。

皆様のご出席を宜しくお願い致します。

◎9/12(土)、ロータリー財団セミナーには、島財団担当が出席されました。

◎9/26(土)に米山奨学委員長・カンセー会議には村上米山担当が出席されました。

会長の時間

会長 政岡政広君

皆様こんばんは。本日17:30から吉崎ガバナー補佐とのクラブ協議会を行いまして、吉崎ガバナー補佐と大谷ガバナー補佐エレクトには引き続き例会にもご参加頂きます。

本日の会長の時間ですが、先週はロータリーの友月間に因んで地区から「ロータリーの友」地区代表委員の木村様にお越し頂きロータリーの友の読み方などご教示頂きました。

今日は地区の国際奉仕委員会木下委員長より5月から各クラブにむけてアンケートをとっていました集計が終わり色んな目線から取材した様々な苦労話や秘策などのご紹介が「RID2660 地区国際奉仕委員会 NEWS LETTER 2020-2021 年度第1号」として届きましたのでご紹介させていただきたいと思います。

第一弾は最近アフリカケニア共和国で国際奉仕プロジェクトを開始された大阪堂島RCの国際奉仕担当

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122
事務所：〒540-0007

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

大阪市中央区馬場町1-8 メゾン・ド・ヴィレ大阪城公園前402号室

Tel. 06-6945-1800 Fax. 06-6945-1808 E-mail midori-rc@george24.com

委員長 尾島康弘さんへの取材内容です。

(事業紹介)

アフリカケニア共和国の4名の高校生へ事業予算48万円とし1年間奨学金授与を行う補助金は今年度使用せず。(昨年度は24万円の地区補助金を得て同額で同事業を展開)

(活動目的)

多くの貧困問題を抱えている貧困層を少しでも救うため先ず小さな輪を作り実現させ大きな輪へ広げロータリアンの目指すべきロータリー財団の使命「貧困撲滅」の達成に導けることと考えアフリカの貧困で喘ぐ人々が我々日本人が考える「極々当たり前の生活」を実現できる事を目的とする。

(活動内容)

アフリカケニア共和国にあるキベラスラム内にマゴソスクールという学校があります。

日本と同様アフリカでも新型コロナウイルス感染症問題により深刻な状況となっておりソーシャルディスタンスを取れない状況で休校になっている。来年1月からの授業の再開に向けてやっと少人数での授業再開が可能と判断されたが再開の条件に適応出来るように教室の拡大など推し進めるため今季に活動内容を継続し奨学金授与だけでなく、新たな事業展開を考え今期までは奨学金の支援を成績上位4名に対して行ってきたが来年度は更に多くの支援を目指す。

今後の事業展開：世界的規模で新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中、特にアフリカケニアでは多くの人々が治療も受けられず自然な流れを待つ状況にあり、そういった状態を回避する為に我々が出来る支援は短期的支援と長期的支援（奨学金支援）の2通りのプロジェクトが必要だと考えコロナ禍の貧困地域は目に余る程の過酷さでありDVや虐待が更に増え餓死者が多数出ているようですロックダウンにより仕事が無くなり食べていくことが更に困難な状況となっています。そこで今回長期的支援に加えマゴソスクール周辺地域の人々へ食糧支援も考えている。日々状況が悪化していくなか状況に合わせて支援も

形も変えていかねばならない。今必要な支援を早急に行いケニアの学校全て来年1月から再開し全学年が留年になります。

長期的支援を続けコロナ禍が蔓延し仕事を失い食物の確保が困難になる為今後更なる事業として食糧支援（給食支援）を視野に入れて展開していく予定とのことです。

本日は大阪堂島RCさんの国際奉仕のご紹介をさせていただきます。

卓 話 抄 録

「教育界(私学)を取り巻く状況」

村上靖平君

(1)教育界を取り巻く様々な情報や問題

① 生産年齢人口(15歳以上65歳未満)が総人口に占める割合

◎日本 2050年 51.8%

◎高いのは、ASEAN諸国・インド・中国

しかし、2015年がピークで以後は下降して「労働輸入国」へ

◎今後は、アフリカ諸国が高くなる(アフリカの時代?)

◎2030年には国際的な労働力不足となり、世界中で(欧州・中国でも人口減少)

外国人労働者の獲得競争へ

(単身ではなく、家族や子どもと来ることも)



留学生対策を今から始めないと間に合わない

◎日本では、約800万人の労働力の減少(四国の総人口の2つ分)

②「Society 5.0」(AI(人口知能)やロボット等の第4次産業革命)

◎狩猟、農耕、工業、情報社会に次ぐ第5の「超スマート社会」を想定。

||

新しい価値やサービスが次々と創り出される

Challenge to Revival!

2020~2021年度 東大阪みどりRCのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度 国際ロータリーのテーマ

現在の「情報社会」の次に来るべき社会を意味する日本の造語。

◎今ある仕事の半分くらいがロボットに置き換えられる。

子どもたちの多くが、現在ない職業に就く。

◎就業者数が増える産業は、「情報通信」・「医療・福祉」・「その他サービス」 → 人が直接対応する高付加価値な営業、サービスに係る仕事。
(おもてなし)

◎日本の成長分野は、「ヘルスケア（医療・福祉・介護など）」・

「情報通信（A I ・ロボット・I T など）」

③「人生 100 年時代」

学んで働いて、また学んで働いての人生

④新学習指導要領

⑤S o c i e t y 5.0 に向けた教育改革

⑥高大接続改革・大学入学者選抜改革の混乱

◎「大学入学共通テスト」

◎「英語 4 技能」

⑦「高等教育無償化」・「幼児教育・保育無償化」

「私立高等学校授業料の実質無償化」



2020 年 4 月から年収 590 万円未満の家庭が対象
予定（現行の就学支援金の拡充）

※大阪の状況

⑧公立高校・広域通信制高校

◎全国的な公立高校の定員割れによる私学化の
加速

◎N 高校 { 自宅型（ネットコース）
通学コース

⑨最近の文部科学省は・・・？

(2)私学のあるべき姿

◎「グローバル化社会」・「S o c i e t y 5.0」
と言われる未来社会は先の見えない予測不可能な時代。だからこそ、汎用的な資質・能力に基づいた教育が必要
(限定的な学びより、幅広い学びを)

◎A I などが進展する中で特定の狭い職業分野を特化して身につけて卒業し、その後、その職業技能がどれだけ持ちこたえるのか。

◎社会の速い状況変化の中では、その変化に対応する力を育成することが求められる。

臨機応変な思考や判断力

◎自ら考えて主体的に行動できる人材の育成。

◎集団の中で人間関係を築き、切磋琢磨し社会性やマナーを身につける。

◎I T（情報技術）を教育に効果的に使うことは良いが、より良い導入方法を検討する必要あり。(ネット高校等の「学校不要論」？「遠隔教育」？)



本日のお祝い

会員交流委員会

◎奥様のお誕生日 10 月 07 日 濱田恵摩様

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

◎吉崎ガバナー補佐、大谷ガバナー補佐エレクト、
本日はクラブ協議会有難うございました。

政岡政広君

本日合計 29,000 円 今年度累計 136,000 円

次週 10 月 8 日(木)

簡仁一ガバナー公式訪問

皆様のご出席をお願いします